

・善光寺だよりの・

五月二十四日、大雄山最乗寺余語翠巖老師を
大導師に迎え、開創二十周年記念法要がおこな
われた。

開創二十周年記念法要香語

大圓覺裡無生死 大圓覺裡、生死無し

善惡波頭光不光 善惡、波頭、光と不光と

二句長短誰得意 二句、長短、誰か意を得

ん

薰風滿地露堂々、薰風、地に満ち、露堂々

恭しく惟れば是の日、当山開創二十周年記念の
好辰に相値う。乃ち、道場を嚴飾し、菲薄の奠
を設け、以て、大恩教主釈迦牟尼佛、高祖承陽
大師、太祖常濟大師、当寺開山大和尚、三世十
方一切三宝に供養し奉る。

伏して冀くは、正法興隆、万邦和樂、国土安
穩、諸縁吉祥、山内鎮淨、諸災消除。

更に祈る、当山檀信、有縁、万縁吉祥ならん
ことを。

伏して惟れば、至禱至禱

ついで記念式典における開基家の祝辞は次の
とおりである。

祝 辞

当善光寺が開創して二十年をけみ閱しましたこ
と、まことしゅうちやく洵に祝まことしゅうちやく着至極に存じます。

人間でいえば、成人というところでありま
す、周囲の寺々が、三百年五百年の伝統の上
に立っていることを思えば、二十年はホンの一瞬
の時の経過でしかありません。

にも拘らず、今日すでに二千有余の檀徒を擁
し、又留学僧を海外に派遣するという、一宗を
挙げて、実行困難な大事業を単独で実施して

いることは正に驚異というべきであります。

黒田方丈様の崇高な大誓願と卓抜した実践力には、只、只、敬服のほかありません。

またそうした方丈様が、思う存分、腕を振るうことが出来るよう、協力して下さるお檀家の皆様の御信心と、善光寺護持の熱意に深く感銘すると共に、厚く御礼申上げるものであります。そして又先代が開基家として、方丈様と深い御縁を結んでいただきましたことを、心からよろこんでおります。先代夫妻、また泉下に於て、本日のこの盛典に、破顔微笑しておられることと存じます。

本日は本当におめでとうございます。

平成元年五月二十四日

ナリス株式会社

開基家

村岡

有尚

施食会とお盆行事無事円成

七月三日、新盆施主の施食会。法話 佐藤俊

明老師

七月四日、山門施食会。法話 中野東禅先生。

七月十三日から十六日までの間、お盆の棚経が無事おこなわれた。

中野師が特派講師に任命される

スリランカに留学していた第二回留学僧中野良教師（保谷市東禅寺副住職）が曹洞宗特派講師として八月より米国ロサンゼルスへ派遣されることになった。

本坊光真寺夏大祭へ参拝

善光寺婦人会の主催により、恒例の夏季旅行として、七月二十四日・二十五日の両日、大田原光真寺本坊を参拝した。当日、長生閣明月苑

に一泊し、翌日、益子焼き窯元を見学し帰途についた。

ワットパクナムより大蔵経寄贈

善光寺開創二十周年を記念して、タイ国皇帝陛下還暦記念出版のパーリー語大蔵経が、ワットパクナム・プラタムパンヤーボデー住職より善光寺に寄贈された。

